

お知らせ



平成27年11月2日

同時資料提出先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会
岡山県政記者会、広島県政記者クラブ、山口県政記者会
山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、
中国地方建設記者クラブ

平成27年度 地震・津波対策訓練を実施します

国土交通省中国地方整備局では、大規模地震・津波による災害を想定し、発災から災害応急対策までの、被災状況の迅速かつ正確な把握・伝達、及び的確な指揮・対策等の訓練を実施し、職員の防災対応能力の向上を図ることを目的として、下記のとおり「平成27年度地震・津波対策訓練」を実施します。

○訓練日時 平成27年11月5日（木） 9：30～15：15
（岡山河川事務所、岡山国道事務所、宇野港湾事務所管内で甚大災害が発生したと想定し本局と情報伝達訓練を実施）

○訓練場所

- ・本局（災害対策本部）：広島合同庁舎2号館8階 災害対策室
- ・事務所等（災害対策支部）：管内の各事務所及び管理所内（25支部）

○訓練のポイント

1. 津波防災の日（11月5日）に合わせた取り組み
2. 津波警報発令後の河川、道路、海岸等の被災状況の迅速な確認と対応
3. 津波警報解除後の国・県・市、防災関係機関との連携した道路啓開等の緊急対応
4. リエゾン・TEC-FORCE派遣訓練
5. 大規模河道閉塞への緊急対応
6. 災害対策用機械の出動、放置車両撤去等の実働訓練

【取材について】

1. 取材については中国地方整備局及び管内全事務所のみとし、その他の関係機関への取材はご遠慮願います。
2. 訓練は全て公開で実施します。訓練中の撮影は可能です。ただし訓練の妨げにならないよう、担当者の指示に従ってください。
3. 庁内への入館は、別途入館の手続きが必要となりますので、余裕をもって来庁して下さい。
4. その他、不明な点は、下記の担当へ問合せをお願いいたします。

○問い合わせ先 国土交通省中国地方整備局

電話番号（082）221-9231（代表：平日・昼間）

（担当）総括防災調整官 あ だち つかさ 足立 司 （直通：082-511-6160）

企画部 防災対策官 つねまつ ひろし 常松 宏 （直通：082-511-6098）

（広報担当窓口）広 報 広 聴 対 策 官 ひら かわ まさ ふみ 平川 雅文（内線2117）

企 画 部 環 境 調 整 官 た お かずなり 田尾 和也（内線3114）

訓練概要

1. 訓練参加機関

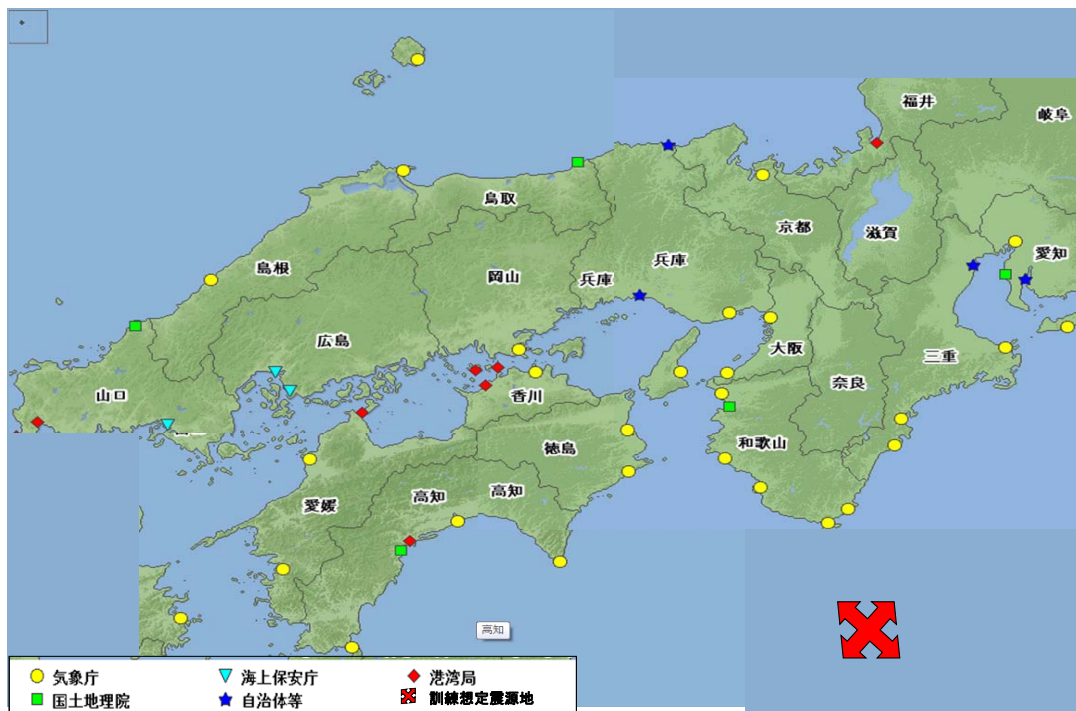
中国地方整備局管内の河川・道路・ダム・公園・港湾空港・営繕関係の事務所（管理所）、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、広島市、岡山市、瀬戸内市、陸上自衛隊中部方面総監部、陸上自衛隊第13旅団、第六管区海上保安本部、第七管区海上保安本部、第八管区海上保安本部、国土地理院中国地方測量部、中国運輸局、気象庁広島地方気象台、西日本高速道路(株)、広島高速道路公社、日本放送協会、中国電力(株)、(一社)中国建設弘済会、(財)河川情報センター、(一社)日本建設業連合会、(一社)河川ポンプ施設技術協会、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)海洋調査協会、(一社)建設コンサルタント協会中国支部、(一社)鳥取県建設業協会、(一社)島根県建設業協会、(一社)岡山県建設業協会、(一社)広島県建設工業協会、(一社)山口県建設業協会、中国地方の防災に関する連絡会、災害応急対策に関する協定締結業者

2. 地震・津波想定

地震発生日時：平成27年11月5日（木）9：00

甚大災害発生地域の地震想定は下記のとおり。

想定地震：南海トラフ巨大地震（訓練）
震源地：和歌山県沖（沖合100km付近）
管内の震度：震度6強～4（震度分布図参照）
管内の津波：宇野港：初期潮位＋1.0m



【甚大災害発生地域の被災想定】

	所管施設名	甚大な被災の内容
河川関係	旭川、百間川、吉井川、高梁川ほか	堤防被害等
道路関係	直轄国道2号、30号、53号、180号、補助国道ほか	地震・津波による瓦礫・浸水、法面前壊等による通行止等
港湾関係	宇野港、水島港ほか	港湾施設被害、浮遊物による航路障害

3. 主な訓練スケジュール

時 刻	実 施 内 容 等
11月5日 9:30頃	・ 本局（8階）に災害対策本部設営 ・ 局長訓示（訓練開始） ・ 気象台リエゾンによる地震に関する今後の状況について説明 ・ 本部会議 管内の体制、被災状況、交通状況等
9:45頃～	・ 天然ダム状況報告 ・ リエゾン派遣指示
9:50頃～	・ CCTVによる樋門閉塞確認 ・ CCTVによるOFFランプ通行止め状況確認
10:00頃～	・ 天然ダムに関する緊急調査実施
10:15頃～	・ <u>防災エキスパート被災現場派遣（災害時の支援協定に基づく要請）</u>
10:45頃～	・ 国道2号笠岡市・岡山市通行止め、国道30号岡山市通行止め実施報告
11:00頃～	・ 本部会議 本部各班から10:30現在の体制、被災状況報告
11:25頃～	・ <u>現地災害対策支援班から被災エリア及び啓開優先ルートの確認・調整状況報告（現地災害対策本部車から）</u>場所：岡山国道事務所
11:40頃～	・ 天然ダム緊急調査結果の報告
(12:00～ 13:00)	(休憩)
13:00頃～	・ 本部会議 13時現在の被災状況及び対策工実施内容について各班から報告
13:20頃～	・ <u>吉井川津波浸水被害箇所へ排水ポンプ車出動</u> 場所：吉井川左岸1k600付近
13:30頃～	・ <u>国道30号での災対法に基づく車両の移動訓練（岡南維持出張所構内から中継）</u>場所：岡山国道事務所岡南維持出張所
14:00頃～	・ 天然ダムへの投下型水位計投下完了、計測開始。 本部モニターへ計測結果を表示。
14:10頃～	・ 港湾施設被災状況報告
14:50頃	・ 本部会議 14:30現在の被災状況、進捗状況、今後の対応について各班から報告)
15:10頃	・ 甚大災害事務所とのテレビ会議による情報共有
15:15頃	・ 講評 ・ 訓練終了

※1 訓練の進行により、実施時間・内容を変更する場合があります。

※2 下線は実働訓練または、映像を災害対策室大型モニターに表示し、訓練を行う時間帯です。

4. 訓練の変更・中止等

訓練の当日、降雨等により訓練内容の変更や防災体制をとる必要が生じた場合は、訓練を中止する場合があります。

※訓練のポイントの補足

今回の訓練のポイント

①津波防災の日としての取り組み

「津波防災の日」の主旨を踏まえ、津波被害に対する「備え」と更なる防災業務の迅速な対応能力向上を図るため、津波被害に対応した情報伝達訓練を実施するもの

「津波防災の日」とは。

- ・東日本大震災を教訓に津波対策を総合的に推進するため、平成23年6月に「津波対策の推進に関する法律」制定、合わせて11月5日が「津波防災の日」と定められた。
- ・1854年11月5日安政南海地震で和歌山県を襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中を逃げ遅れた人を高台に避難させた「稲むらの火」の逸話にちなんだもの。

②津波に関連して発生する障害をシナリオとして組み入れた実践的な訓練 津波警報発令後の河川、道路、海岸等の被災状況の迅速な確認と対応

- ・河川樋門の閉鎖
- ・道路の通行止め措置（CCTVによる状況確認）

③津波警報解除後の国・県・市、防災関係機関との連携した道路啓開等の緊急対応

- ・災害対策本部車で、国・県・市関係者による道路啓開作業の調整、進捗状況の確認と被害情報の共有
- ・防災関係機関（5県2市、陸上自衛隊、海上保安部、中国地方の防災に関する連絡会等）との防災体制や被害情報等について情報伝達を実施。
- ・災害協定に基づく各機関との情報共有や支援体制の確立

④リエゾン・TEC-FORCE派遣、災害対策用機械の出動訓練

- ・リエゾンを派遣し、自治体の被災情報収集と支援に関する情報提供を実施
- ・排水ポンプ車を津波浸水箇所へ出動し、排水作業実施
- ・関係機関との調整のため災害対策本部車を現地へ派遣

⑤大規模河道閉塞による緊急対応

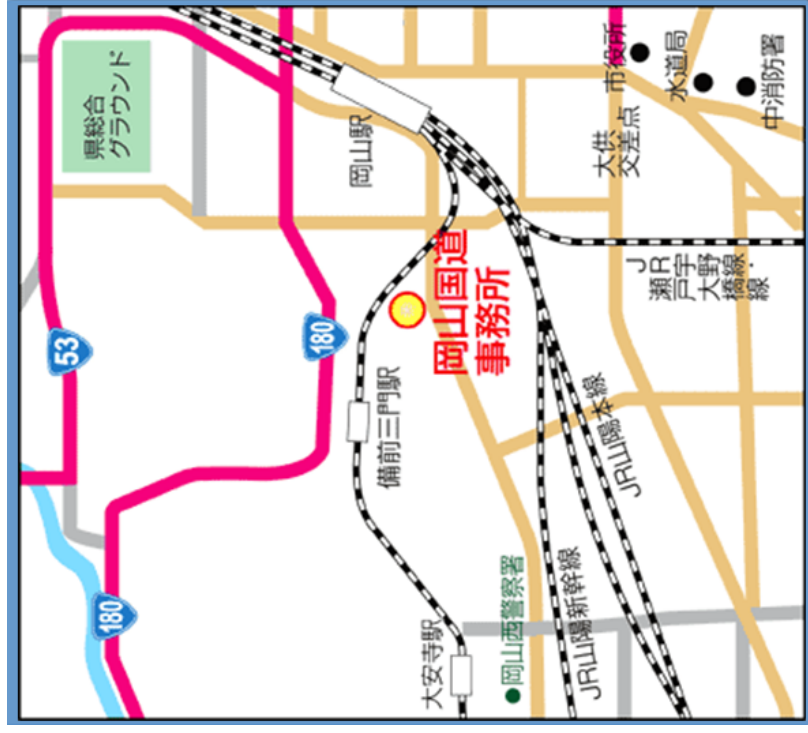
- ・衛星を活用した広域的被害状況の把握
- ・分解組立BHの空輸訓練

⑥災害対策用機械の出動、放置車両撤去等の実働訓練

- ・道路啓開等の作業に支障となる放置車両の移動作業実施
- ・復旧作業に必要な排水ポンプ車の移動設置を実施

実働訓練実施場所位置図

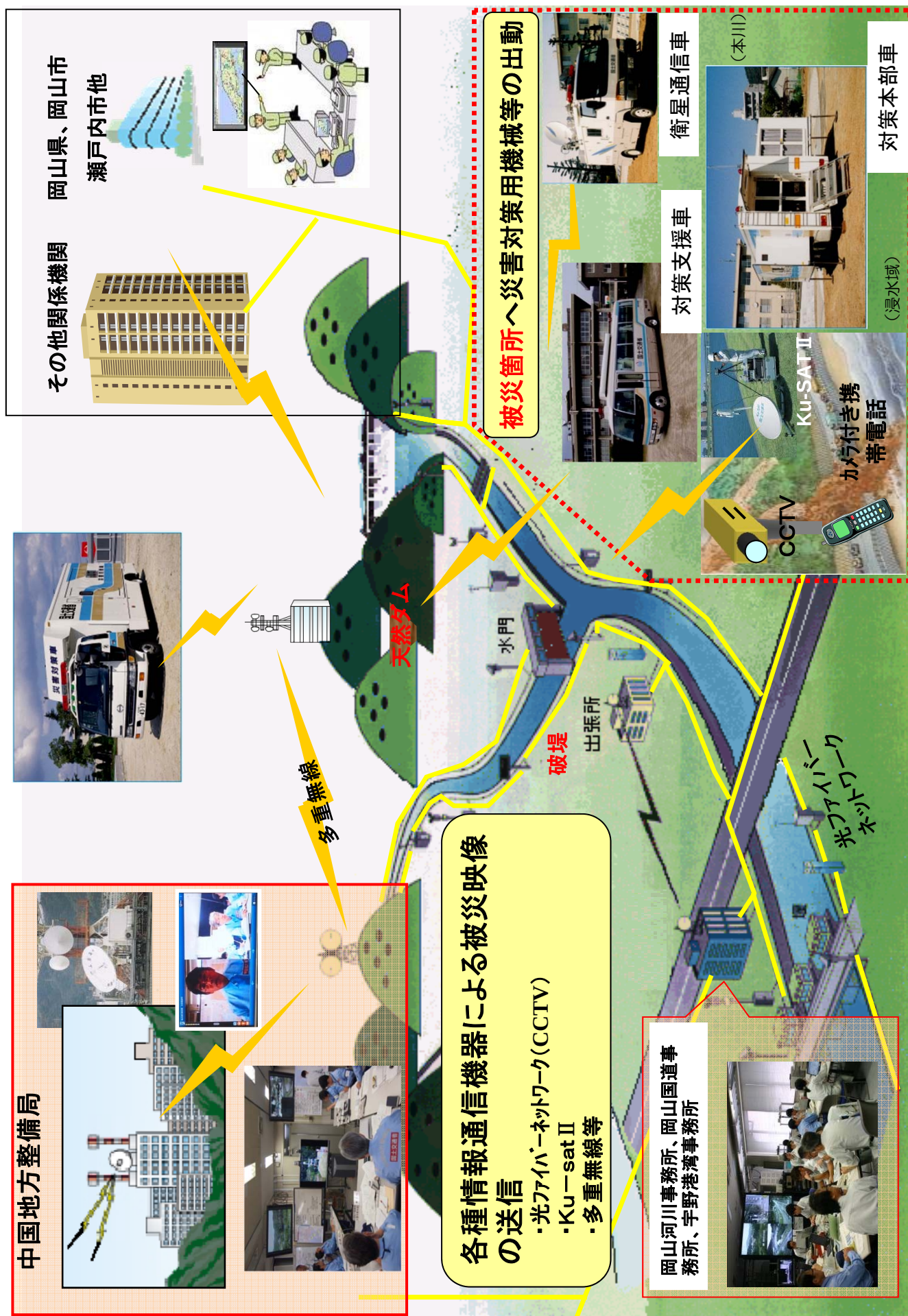
- ①現地災害対策本部車出動箇所



- ### ③排水ポンプ車出動箇所

場所: 吉井川左岸1k600付近乙子排水機場(予定)

訓練および災害時の情報収集・伝達網のイメージ



対策本部車（車体拡張型）

災害等が発生した場合速やかに現地に急行し、現地における対策本部として会議室や宿泊所等に使用でき、車内には台所用品、トイレ、ベット等の他、各種の通信設備が装備されています。

主要諸元

形 式	K C-FX1JLBA 型	室内寸法	
全 長	8,000mm	長 さ	4,530mm
全 幅	2,470mm（走行時） 5,430mm（拡張時）	幅	2,300mm（走行時） 5,100mm（拡張時）
全 高	3,780mm	高 さ	1,925mm
軸 距	4,850mm	車両重量	8,390kg
最低地上高	180mm	乗車定員	8 名



車両総重量	8,830kg
燃料タンク 軽油 200ℓ ガソリン 40ℓ （発電機の連続使用可能時間 20h） 灯油 40ℓ （給湯器の連続使用可能時間 30h）	



装 備 品

拡張方式	電動油圧方式
通信設備	400MHz 帯多重無線、K-COSMOS 移動無線、150MHz 帯超短波無線、 HF・UHF・BS 放送受信装置、FAX
トイレ	電磁誘導加熱方式（全自動）、処理能力 20cc/min
厨房設備	シンク付調理台、清水タンク、汚水タンク、冷蔵庫、電子レンジ、カセットコンロ

シャワー室兼乾燥室	灯油式ボイラー給湯、温風乾燥機
宿泊設備	組立式ベッド 8 人分
電源設備	発電機（200V・60Hz・5kVA） 無停電電源装置（100V、1kVA）
その他装備	カラーテレビ（BS 対応）、ビデオデッキ、ラジオ、カーナビゲーションシステム、会議用テーブル



対策本部車（バス型）



主要諸元

形 式	SDG-FX7JGAA 型	室内寸法	
全 長	6,930mm	長 さ	4,800mm
全 幅	2,270mm	幅	2,130mm
全 高	3,380mm	高 さ	2,010mm
軸 距	3,750mm	車両重量	6,890kg
最低地上高	165mm	乗車定員	8 名

車両総重量	7,330kg
燃料タンク 軽油 100ℓ（車両用） 軽油 30ℓ（発電機用） （発電機の連続使用可能時間 18h）	



装 備 品

通信設備	FAX（衛星携帯電話対応型） 衛星携帯電話（車載用電話）
トイレ	簡易組立式便座
厨房設備	冷蔵庫、電子レンジ、カセットコンロ

宿泊設備	ベッド 4 人分
電源設備	発電機（200V・60Hz・6kVA）
その他装備	カラーテレビ（BS 対応）、ラジオ、カーナビゲーションシステム、会議用テーブル

